青葉匂う

四日市市立港中学校通信
平成３０年度　第８号
７月２０日（金）発行

いよいよ夏休み！　生活に目標とリズムを

明日から生徒の皆さんが待ちに待った夏休みが始まります。すでに今年の夏休みの目標をたてたことと思います。夏休みは蒸し暑く長期間続くので、途中から気が緩み、生活のリズムが乱れてしまうことがあります。自主性や自律性が問われるこの休みこそ「自分を伸ばすチャンス」といえます。

私は、生徒の皆さんと一緒に、この港中学校を「笑顔と希望にあふれる学校」にするとともに「夢や希望を語り合える学校」にしたいと思っています。すでに夢や希望を持っている人は、これからも実現に向かって努力を続けてください。まだ夢や希望が見つかっていない人は、今年の夏休みに様々な体験をするなかでじっくり考え、探してください。

ウォルト・ディズニーさんは、「夢をかなえる秘訣は、『好奇心、自信、勇気、継続』の４つである」と言っています。

３年生は、規則正しい生活をする。学習面では、進路に向けて徹底した復習と多くの練習問題をこなす。

２年生は、部活動に意欲的に参加し、新チームをひっぱる。学習面では、１・２年生の復習をする。

１年生は、部活動に積極的に参加する。学習面では、１学期の復習と苦手教科の克服をする。

計画通りいかない時は、修正を加え、自分の現状にあった計画にするなど、粘り強く取り組んでください。そうすれば「心が強くなること」が実感できます。

９月３日（月）に皆さんの成長した姿をみられることを楽しみにしています。

県大会、東海大会、全国大会をめざせ！！

いよいよ明日から、運動部の３年生にとっては、県大会・東海大会・全国大会へと続く最後の大会「三重県中学校総合体育大会三泗地区予選」が開催されます。選手の皆さんは、今まで一緒に頑張ってきた仲間とともに、１つでも多く勝ち進み、達成感を味わってください。また、壮行会で話した通り、レギュラー、控えに関係なく自分の役割を全うする姿を、後輩や応援に来てもらう皆さんに見せてほしいと思います。また試合後は、今まで支えてきていただいた家族に感謝の気持ちを言葉で伝えてください。

各部の対戦相手と会場及び開始予定時刻を裏面の通りお知らせしますので、**保護者の皆様は家族、ご近所様をお誘いあわせの上、お時間の許す限りたくさんの応援や激励をお願いいたします。**

なお、本年度は７月１４日（土）に水泳競技は終了しています。この予選で、２年内田真鈴、２年後藤大知の両名は、25 日、26 日に三重交通Ｇスポーツの杜鈴鹿水泳場にて開催される県大会への出場を決めました。自己ベストを目指して頑張ってください。

【７月１３日実施の壮行会の様子】

21日（土）	対戦相手	会場	開始時間
バスケット女	朝日	朝日中体育館	11:40
ソフトテニス男団体戦	三滝	三滝テニスコート	9:20
ソフトテニス女団体戦	南	三滝テニスコート	10:10
テニス女個人戦		四日市ドーム	9:20～順次
22日（日）	**対戦相手**	**会場**	**開始時間**
バレー女	三滝	楠中学校体育館	9:10
野球	富洲原/八風の勝者	松原球場	9:00
バスケット男	大池	川越中体育館	11:10
ソフトテニス男個人戦		三滝テニスコート	9:00～順次
ソフトテニス女個人戦		三滝テニスコート	9:00～順次
陸上（22日～23日）	通信陸上	三重交通Ｇスポーツの杜伊勢	9:30～順次

他の部活動の出場大会等

吹奏楽	三重県吹奏楽コンクール Ｂ編成の部	三重県総合文化センター	７月27日
水泳	三泗地区新人戦	霞ヶ浦プール	８月７日
	学年別水泳大会	三重交通Ｇスポーツの杜鈴鹿	８月25日
陸上	三泗地区予選	中央緑地陸上競技場	８月24・25日

学校代表　自分の思いが大勢の方に届くように、自信をもってスピーチしてください！

８月18日（土）	四日市市中学生スピーチコンテスト「THE　BENRON」学校代表	題：虹色	３年:荒川柚羽
８月26日（日）	中学生メッセージ２０１８（第40回少年の主張三重県大会）四日市市代表	題：「働く人」は輝いている	３年:宮原彩花

夏季休業中の休校日のお知らせ

平成３０年度の夏季休業中の休校日は、８月１０日（金）～１６日（水）の７日間です。市内のすべての小中学校が同様で、教師は勤務いたしません。よって補習日や質問日は設定せず、部活動もありません。ご理解いただきますようお願いいたします。

コラム：「希望学」って知っている？　生徒の皆さんには「希望をもってほしい！」（校長より）

東京大学社会科学研究所の玄田有史教授が「希望学」を提唱して十数年がたちました。正式には、「希望の社会科学」ですが、希望と社会の関係を考察するための新しい学問です。

玄田教授は、「希望を持つ」ということの重要性について、次のように述べています。

「多くの希望は、失望もしくは絶望を必然的に伴っている。だから、希望なんて持ってもどうしようもない、意味がないと思うかもしれない。

しかし、希望を保有すること自体が、個人の思考や行動を変え、ひいては個人と社会の関係を変えていく。

その結果、希望を持つという行為やそこから派生するプロセスが、希望を持たなかった場合に得られなかった、より高次の充足を実現する確率を高めるのです。」